

みずほCustomer Desk Report 2023/11/02号 (As of 2023/11/01)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	151.49
TKY 9:00AM	151.31	1.0577	160.08	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.61	1.0581	160.25	1.2149	0.6337
SYD-NY Low	150.67	1.0517	159.08	1.2163	0.6399
NY 5:00 PM	150.95	1.0571	159.55	1.2096	0.6319
	150.95	1.0571	159.55	1.2150	0.6394
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,274.58	221.71	日本2年債	0.1600%	0.0100%
NASDAQ	13,061.47	210.23	日本10年債	0.9500%	0.0000%
S&P	4,237.86	44.06	米国2年債	4.9457%	▲0.1354%
日経平均	31,601.65	742.80	米国5年債	4.6518%	▲0.1939%
TOPIX	2,310.68	56.96	米国10年債	4.7331%	▲0.1923%
ソコ日経先物	31,875.00	500.00	独10年債	2.7570%	▲0.0510%
ロンドンFT	7,342.43	20.71	英10年債	4.4935%	▲0.0200%
DAX	14,923.27	112.93	豪10年債	4.9680%	0.0500%
ハンセン指数	17,101.78	▲ 10.70	USDJPY 1M Vol	7.98%	▲1.00%
上海総合	3,023.08	4.31	USDJPY 3M Vol	9.31%	▲0.31%
NY金	1,987.50	▲ 6.80	USDJPY 6M Vol	9.48%	▲0.37%
WTI	80.44	▲ 0.58	USDJPY 1M 25RR	▲0.54%	Yen Call Over
CRB指数	279.08	▲ 2.07	EURJPY 3M Vol	9.26%	▲0.31%
ドルインデックス	106.88	0.22	EURJPY 6M Vol	9.60%	▲0.26%

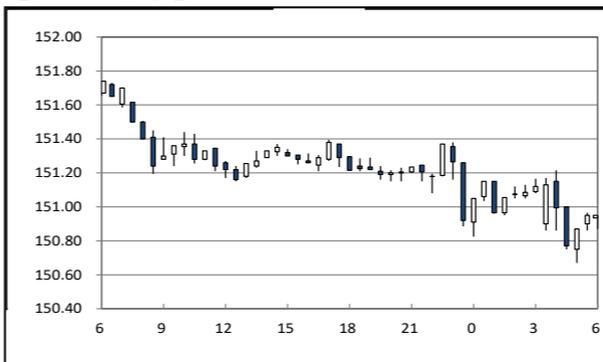
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月1日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	10月 49.5	50.8
	18:30	英 製造業PMI・確報	10月 44.8	45.2
	21:15	米 ADP雇用統計	10月 113k	150k
	22:45	米 製造業PMI・確報	10月 50.0	50.0
	23:00	米 建設支出(前月比)	9月 0.4%	0.4%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 46.7	49
11月2日	03:00	米 FOMC政策金利(上限/下限)	1-Nov 5.5%/5.25%	5.5%/5.25%
	03:00	米 FOMC声明発表	「インフレ率は引き続き高止まりしている」「現時点で利下げについて考えていない」	
	03:30	米パウエルFRB議長会見		

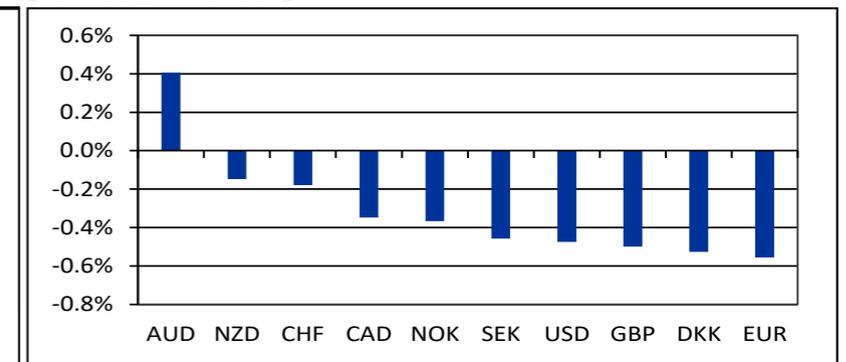
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月2日	09:30	豪 貿易収支	9月 A\$9500m	A\$9640m
	17:55	独 製造業PMI・確報	10月 40.7	40.7
	18:00	欧 製造業PMI・確報	10月 43.0	43.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	28-Oct 210k	210k
	23:00	米 製造業受注(前月比)	9月 2.3%	1.2%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	9月 0.8%	1.4%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	9月 4.7%	4.7%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	9月 0.5%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.80-151.20	1.0500-1.0650	158.50-160.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は、東京時間151円前半でスタートしたが、FOMCを控えて日中は小幅の値動きに留まった。海外時間に発表された米10月ADP雇用統計、米10月ISM製造業指数の結果が事前予想を下回る結果となったことでドル売りの展開。その後、FOMCにおいて今後の金利引き上げの見通しが後退したことや米財務省の四半期入札の結果を受けた米金利低下を背景に一段とドル売りの流れが強まり150.90近辺でクローズ。
本日のドル円は、上値が重い展開が継続か。昨日発表された米経済指標およびFOMCのパウエル議長の会見の内容は追加利上げ期待を後退させるものであり、米金利低下を背景としたドル売りの流れが継続すると想定。ただし、3日(金)に米10月雇用統計の発表を控えていることから、徐々に値動きも限定的になると思われる。

東京	日本時間朝8時過ぎに神田財務官の“スタンバイ発言”を受け、為替介入警戒感が強まる中、151.31レベルで東京市場オープン。公示仲値にかけてつけた151.44がこの日の東京高値に。正午前には神田財務官から再度けん制発言が出ると151.15の東京安値まで下押し。その後、計4,000億円の臨時オペの発表などあったが、ドル円のトレンドを形成するのは至らず。151.28レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.28レベルでオープン。日本当局のヘッドライン以降特段の材料もなく、今晚の米FOMCを控えたもみ合いに終始。151.25レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2139レベルでオープン。朝方発表された英10月の住宅価格が下落予想に反し上昇したことで1.2161まで買われて始まったが勢いは続かず。1.2126レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台後半でスタート。前日に急伸したドル円の値動きを背景に、神田財務官が為替介入の可能性について「スタンバイしている」との発言を受けて、151.20付近まで売られた。その後は上値重い展開が続き151.25レベルでNYオープン。朝方は米10月ADP雇用統計指数は予想を下回り、続いて発表された米9月JOLT求人件数は予想を上回るも、特段材料視されず。しかし、米10月ISM製造業景況指数のヘッドラインが予想を下回り、構成項目の雇用と新規受注も悪化し、米経済減速の思惑からドル売りが強まり、150.83まで下落。売り一巡後は151.10付近まで戻す。午後は注目の米FOMCの結果が発表され、現行の政策金利維持が発表された。パウエルFRB議長の記者会見では今後の追加利上げの可能性を否定しなかったものの、「これまでの進展考慮し、FOMCは慎重に進んでいる」、「成長減速が必要になる可能性高いと今も考えている」と発言。150.87まで下落する場面もあったが、その後は小動きとなり、150.95レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。特段手がかり材料は見当たらず、じり安での推移が続ぎ、1.0543レベルでNYオープン。午前中は弱い米経済指標の内容を受け、米金利が低下する中、1.0570まで上伸するも、長続きせず、1.0533まで反落。午後はFOMCの結果を背景に、ドル売りが優勢の中、再び1.0575まで反発し、その後1.0571レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 部坂・南野